



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき かつとし 克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2008年2月17日 No.606

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>

このコーナーの
「意見や質問を
お寄せください」



耐震
支援

マンションも対象に

08年度予算 地震対策が大きく前進



地震対策にマンションなど鉄筋コンクリート造建築物の耐震化は欠かせません。

08年度予算にマンションの耐震診断助成が盛り込まれました。品川区は現在の62%の住宅の耐震化率を2015年までに90%へ引き上げる計画です。マンション耐震診断の支援により、住宅耐震化は大きく前進することになりました。

区内には81年以前の「旧耐震基準」の木造住宅は2万3千棟、マンションは1100棟に及びます。阪神大震災では犠牲者の9割が家屋やマンションの倒壊が原因。地震対策にマンションの耐震化は欠かせません。

日本共産党は、阪神大震災以降、住宅・マンションの耐震診断・補強改修への支援を要求。品川区は06年に木造住宅の耐震改修支援に踏み切ったもののマンションまでの対象拡大を拒否してきました。

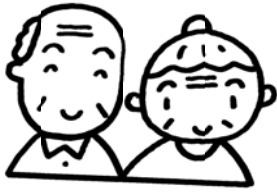
日本共産党は一昨年12月の議会でもマンションの耐震化支援のための条例を提案。自民・公明・民主らは反対しましたが、ついにマンションの耐震診断が実現しました。補強改修も支援するよう引き続きがんばります。

災害弱者の支援

高齢者・障害者世帯に家具転倒防止器具を設置

08年度予算案で前進した地震対策。そのなかには、高齢者世帯と障害者世帯に対する「家具転倒防止器具の設置助成」も盛り込まれています。

助成対象は、65歳以上の高齢者世帯または障害者のみの世帯で、家具転倒防止器具の購入と取り付けの費用を上限2万円まで助成します。自己負担は1割ですが、非課税世帯は無料になります。



品川区は予算案にシエルトー設置への助成制度も盛り込みました。大地震により家が倒壊しても住民の生命を守ることで、逃げ遅れによる被害の防止になります。

家具転倒防止器具設置への支援は日本共産党が求めてきたものです。みなさん、大いに制度を利用してください。

29号線

ムダな道路の品川版 防災口実でゴリ押し許さない

品川区が補助29号線の道路建設をすすめるようとしています。大震災の際、広い道路と高いビルによって類焼を食い止める「延焼遮断帯」、つまり防災のためというのが名目です。

首都直下の大地震が今後30年以内に発生する確率は70%…地震対策は焦眉の課題です。そんなときに、費用も時間も途方もなくかかる道路計画を地震対策の中心にするのは理解できません。

品川区がいま力を入れている住宅の耐震化。現在62%の耐震化率を2015年までに90%に引き上げる計画です。耐震化がすすめば火災発生を減少させ、地域防災力も向上します。防災対策は住宅の耐震化こそ急ぐべきであり、道路建設を中心にするのは防災の考え方と矛盾します。

住民は住宅街と商店街を破壊する29号線に反対。地震対策を口実にしたムダな道路の品川版＝29号線の押し付けは認められません。

29号線は、山の手通り大崎警察横から戸越公園駅前を経て池上本門寺手前で国道1号線に合流する幅20mの道路計画。建設中の「首都高速中央環状品川線」による混雑緩和が目的のバイパス道路です。



2月20日(水)から 予算議会が始まります

今議会の主な議案は08年度予算案、品川区の今後の区政運営のベースとなる「基本構想」などです。なお、日本共産党区議団は20日午後に南恵子議員が代表質問、22日午前に飯沼雅子議員が一般質問を行います。ぜひ、傍聴にきてください。

お困りのときは

お気軽に **ご相談ください**

無料 **法律相談** は 2月15日(金)

弁護士が対応 3月14日(金)



日本共産党 **みやざき克俊** 事務所
品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674